

令和5年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■調査概要

| | |
|--------|-----------------------|
| 助成団体 | 和歌山県有田市 |
| 間接助成団体 | 宮原総合型クラブみかんの森たわわ |
| 事業細目名① | 総合型地域スポーツクラブ自立支援 |
| 助成金額① | 1,068,000 円 |
| 助成細目名② | 総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援 |
| 助成金額② | 1,555,000 円 |

■調査内容

令和5年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、総合型地域スポーツクラブ自立支援事業及びクラブマネジャー設置支援事業を行っている和歌山県有田市及び間接助成先である「宮原総合型クラブみかんの森たわわ」の調査を実施しました。

宮原総合型クラブみかんの森たわわは、クラブ代表の「地域の子どもや大人にとっての居場所づくりをしたい」という思いから活動をスタートし、有田市に相談、支援を受けて令和5年3月に設立されました。クラブは現在67名の会員と会員以外のビジター参加者が教室に参加しており、かけっこ、ダンス、幼児ダンス、いろいろスポーツ、ヨガ、ベリーダンスの5種目6教室が実施されています。今後も地域のニーズに合わせた種目の教室実施を検討していますが、指導者の確保が課題となっています。

今回調査をしたかけっこ教室は、月4回、火曜日に実施されている子ども向け教室です。地域の小学校の体育館を利用しており、在校生と他校生のクラブを通じた交流が生まれていました。また、履き替えた靴を自発的にきれいに並べるなど、整理整頓なども身につけている様子が印象的でした。

くじ助成を受けたことで指導者への謝金の支払いやチラシ等の作成が可能となり、安定的な教室運営ができるようになりました。チラシは有田市の協力のもと学校での配布や、地域の回覧板を活用した広報により、多世代の認知度向上・会員数増加にも繋がっています。

今後、さらに参加者を増やし、地域にとっての「居場所」となり、なくてはならないクラブとしてより発展されることを期待しています。

（令和5年9月5日往査）

(写真) かけっこ教室の様子

